

た心持を、ダラさずに、遂に其の生を終へられたのであつたと私は思ふ。人の信仰を司つてゐた僧正のみならず、人の心身の啓發を事とする我々も亦、斯かる意味の上に立たねばならぬのではありますまいか。

◎入會者(四十四年十一月以降)

- 栃木縣足利高等女學校 (七〇)
- 東京市小石川區竹早町七 (未納)
- 長野縣立長野高女 (七〇)
- 台北西門外街三、一九 (七〇)
- 福知山高女 (七〇)
- 宮城縣角田實科高女 (七〇)
- 魏町區四番町十四 (七〇)
- 沖繩縣那覇高女 (七〇)
- 朝鮮京城櫻井町三七ノ二 (二四〇)
- 四十四年度會費未納者
- 上兼いそ 大野ゆき 江口折枝 河田照江
- 齋藤シネ 鹽見まん 福井ひさ 三宅よし
- 法貴すゑ 湯田い い

◎會計報告

百十圓十錢厘
 一金 一、一八〇、 文科會々費生徒より徴收
 一金 七六、九〇〇、 卒業生ノ會費
 一金 二六、六二〇、 生徒雜誌實費
 合計一〇四、七〇〇、

支出

一金 六四五、 廿回文科會開會費
 一金 三三五、 雜費(切手はがき、原稿用紙、洋紙、原稿用紙、洋紙)
 一金 一八〇、 電車賃(幹事、講演者へ交渉のため)
 一金 五〇、〇〇〇、 會誌(第一號)印刷代
 一金 五〇〇、 地圖(楊子江)紙代
 一金 八一〇、 電車賃(開會に付幹事の地學協會行講演者へ交渉の御禮)
 編輯雜費
 編輯雜費
 會誌送料
 會誌送料
 葉書代(卒業生へ會誌發行の紹介)
 合計 六一、一九〇、
 差引 四三、五一〇、

◎敬告

一、卒業生の方より質問欄を設けてはどの御申込みの有候ひしに由り先生とも相談の結果御申学術談話會編輯係宛にて御申込み下され候は、幹事責任を以て先生方に伺ひ本誌にて御答申し上げ候ふことに致し候向回答は御急ぎの節には直ちに御本人宛に可答し置き後他の方々の御參考までに本會誌に掲載いたし申候ふまゝ、御遠慮なく御申込み下され度候
 一、四十五年度會費七十錢四月末日までに文科學術談話會部長下田次郎先生宛にて御送附下され度候

附錄

各科參考書目錄

以下の諸參考書は本年文科卒業生が各先生方に伺ひ奉りたるものと各自圖書室にて取調べたるものとを集めたるものあり、幸諸姉の御參考に資せばと請うて本誌に記載せり。

◎日本歴史普通參考書目

- (一) 通記類
 - 一、大日本歴史 (有賀 長雄) 二
 - 一、大日本通史 (萩野 由之) (上) 一
 - 一、日本大歴史 (青木 武助) 一
 - 一、國史眼 (重野 三野) (久米、三氏) 一
 - 一、國史の研究 (黒杉 勝美) 一
 - 一、大日本時代史 九
- (二) 日本歴史要義 (藤澤、小島兩氏) 一
- 一、二千五百年史 (竹越與三郎) 一
- (特に現代に關するもの)
 - 一、明治歴史 (坪谷善四郎) 二
 - 一、大日本現代史 (國府 種徳) 二
 - 一、明治四十年史 (國民 書院) 一
 - 一、開國五十年史 (大隈 伯撰) 二
- (三) 制度に關するもの
 - 一、日本制度通 (萩野、小中村兩氏) 三
 - 一、日本法制史 (三浦菊太郎) 一
 - 一、日本法制史 (池邊 義象) 一
 - 一、日本古代法釋義 (有賀 長雄) 一
 - 一、官職制度沿革史 (小中村清矩) 一
 - 一、官職要解 (和田 英松) 一
- (三) 倫理并に教育に關するもの
 - 一、日本倫理史 (湯本、石川兩氏) 一
 - 一、日本倫理學史 (大江 文城) 一
 - 一、日本武士道史 (蟻川 龍夫) 一
 - 一、日本儒學史 (久保 天隨) 一
 - 一、近世儒學史 (久保 天隨) 一